

「旭川市こども計画（案）」へのこどもの意見募集 主な意見

【肯定的な意見】

- 「旭川の子どもたちのためにこのような計画を立てるのはとても良いことだと思った」
- 「将来の目標に向かって頑張っていくことを応援する街『旭川』を大人も子どももみんなで作っていくことがわかった」
- 「子どもを支えるのはもちろん、仕事をしてお金を稼いでくれる親のことも支えてくれると言うなら、ぜひ計画を進めて欲しい」
- 「子どもの意見はどのようなものがあるか楽しみ」
- 「あからさまな運動は続かないから、ゆっくり確実に広げて行ってほしい」

【否定的な意見】

- 「計画案が曖昧すぎる」／「計画に具体性がなく適当だと感じた」
- 「内容の説明がさっぱりしすぎて分かりづらい」
- 「すごく曖昧な状態で意見を求めるのは厳しい」
- 「自由すぎて意見しづらいので、質問を絞ってほしい」
- 「もっと具体的な案を出してから意見を募るべき」

【意見（提案）】

- こどもや若者の意見反映について
 - 「若者の意見をもっと取り入れてほしい」
 - 「子どもや若者の意見が通りにくいので、意見を集める仕組みを作るべき」
 - 「定期的に意見を聞く企画を実施すべき」
- 世代間のバランスについて
 - 「子どもだけでなく、親や中間世代の負担も考慮してほしい」
 - 「高齢者だけでなく、若者や中間世代の意見も考慮してほしい」
 - 「若者だけでなく、高齢者の意見も取り入れつつ、バランスをとるべき」
 - 「地域の世代間の対立をなくし、支え合う環境を作るべき」
- 具体的な施策のアイデア
 - 「学校で出前授業を行い、計画を説明するべき」
 - 「自分の個性を伝えられるアプリを開発してほしい」
 - 「子育てに関する悩みを共有できる場やアプリを作るべき」

【学校生活に関すること】

- 学校設備・環境の改善要望（特にクーラー設置の希望が多い）
 - 「クーラーをすべての教室に設置してほしい」
 - 「暖房・空調設備が不足していて、夏は暑く冬は寒いので改善してほしい」
 - 「学校のトイレを新しくしてほしい」
- 教育内容の充実
 - 「ネイティブスピーカーによる英語の授業を増やしてほしい」
 - 「学校でのグループ活動を増やして楽しくしてほしい」
 - 「違う学校の先生が授業をする機会を増やしてほしい」
 - 「先生の数を増やして負担を減らし、質の高い教育を提供してほしい」
 - 「支援学級の先生のレベルを向上させるための研修を増やしてほしい」
 - 「先生の長時間労働を解消し、より生徒と向き合える環境を作るべき」
- 校則・制服の見直し
 - 「ランドセルやカバンが重すぎるので、教科書の置き勉を認めてほしい」
 - 「制服ではなく自由な服装にしてほしい」
 - 「校則を緩くして、ピアス・髪染め・メイク OK にしてほしい」
 - 「男女関係なく制服を選択できるようにしてほしい」
 - 「ブラック校則をなくして、人権を尊重してほしい」
- 給食
 - 「給食が余るので無駄にならないようにしてほしい」
 - 「牛乳が苦手な子のために、他の飲み物の選択肢を増やしてほしい」
 - 「世界の料理を給食に取り入れてほしい」
- 部活動・クラブ活動の充実
 - 「部活動を旭川市全体で取り仕切り、どの学校に行っても部活動を楽しめるようにしてほしい」
 - 「部活動の大会費の負担を減らしてほしい」
- 通学や学校の立地に対する意見
 - 「通学距離が長すぎるので、学校の立地を見直してほしい」

【通学や公共交通、冬道に関すること】

- 交通機関の本数増加・利便性向上
 - 「バスや電車の本数を増やしてほしい」（多数）
 - 「バスの経路を増やしてほしい」
 - 「冬のバス通学が不便で、帰宅に2時間以上かかることもある」
 - 「登下校に合わせてバスの出発時刻を設定してほしい」
 - 「バスの本数が少なく、乗り継ぎが大変」

- 「夜のバスの便が少なく、バイト後や居残りの際に不便」
「通学や通勤、通院のためにもバスの本数を増やしてほしい」
- スクールバスの導入希望
「バスを利用すると一般の人にも迷惑がかかるので、スクールバスを導入してほしい」
 - 交通費の負担軽減
「バス運賃が高いので安くしてほしい」
「学生の交通費を安くしてほしい」
「毎日バスを利用するので、生活への負担が大きい。旭川市の支援が欲しい」
 - 地域の公共交通課題
「駅を通らないと行けない場所が多く、不便を感じる」
「田舎のバス停を増やすか、本数を増やしてほしい」
「旭川から当麻行きの子バスの最終便が8時台で、もっと遅い時間にも必要」
 - 交通手段の多様化、地域間アクセス向上
「旭川市内の駅を増やしてほしい」
「他の町から来たときに移動しやすくするため、鉄道や駅を増やしてほしい」
「バスだけでなく、他の交通手段も増やしてほしい」
 - 除雪に関する要望
「歩道の除雪をもっと徹底してほしい」（多数）
「通学路の雪山をなくしてほしい」
「歩道が除雪されていなくて、小さな子どもが歩くのに危険」
「大きな道路の除雪は問題ないが、細い道路の除雪が遅い」
 - 通学時の安全対策
「歩道と道路の間に柵を設置してほしい」
「橋の歩道にロードヒーティングを増やしてほしい」
「通学時間に除雪車を入れないでほしい」
 - その他の冬季道路整備に関する提案
「公共施設の屋根の雪を早めに落とす対策をしてほしい」

【生活環境に関すること】

- 主な意見
「道路や歩道を綺麗にしてほしい」
「ポイ捨てのない街にほしい」
「緑道をきれいにする取り組みがあると良い」
「小さな公園のトイレが汚くて怖いので、清掃を強化してほしい」
「公衆トイレに虫が多く、臭いがするので改善してほしい」
「コンビニやスーパーは明るい時間帯の電気を消して営業するべき（SDGs）」
「カラスのフンを減らすための対策（駆除ではなく、カラスが苦手なものを置くなど）」

【まちの賑わいに関すること】

● イベントの開催

- 「旭川は他地域と比べてイベントが少ない」
- 「冬祭りをもっと行きやすくしてほしい」
- 「夏の花火大会を増やしてほしい」
- 「若者が輝けるイベントを計画するべき」
- 「広い公園を使って季節ごとのイベントを開いたらいい」
- 「公園で小学生向けのお祭りを開催してほしい」
- 「人気アーティストを招いたライブを札幌だけでなく旭川でも開催してほしい」

● 観光・商業施設の拡充

- 「旭川には遊園地がないので作ってほしい」
- 「旭川市の中心部に水族館を作ってほしい」
- 「動物園と水族館を合体させた施設を作ってほしい」
- 「ウォータースライダーや流れるプールのある施設がほしい」
- 「旭川独自のブランド店を作れば観光客が増える」
- 「札幌や東京にあるようなデパ地下を作ってほしい」
- 「買い物公園の活性化（全天候型商店街・キッチンカーの助成・イベントの定期開催）」

● 若者の定住促進・住みやすいまちづくり

- 「若者を尊重し、若者の意見を取り入れるべき」
- 「若者が永住したいと思うまちを作る」
- 「旭川で全て完結できるように（買い物・就職・娯楽）」

【商業施設の誘致】

● 商業施設の新規誘致

- 「ファミリーマートがほしい」（多数）／「ファミマの限定商品が買えないのが悔しい」
- 「コストコを作ってほしい」
- 「服の専門店が少ないので増やしてほしい」
- 「総合型施設（Round1のような遊び場）がほしい」
- 「アスレチックパークを作ってほしい」
- 「ライブ会場を設立してほしい」
- 「高校生が楽しめるカフェや韓国プリクラ、話題の服屋などを増やしてほしい」
- 「若者が行きたくなるようなショッピングモールを作ってほしい」
- 「道の駅を広くして、もっと店舗を増やしてほしい」
- 「旭川独自のショッピング施設を作れば、観光客も増えるのではないか」
- 「大型のテーマパークやショッピングモールを建ててほしい」
- 「学校の周りにももっとお店を増やしてほしい」

■ 基本施策2

良好な成育環境を確保し、こども・若者の健やかな育ちを支える

(ライフステージを通して)

1 多様な遊びや体験・活躍できる機会づくり

【遊び全般について】

- 屋外の遊具や施設の充実
 - 「買い物公園に、屋根をつけてほしい。」
 - 「公園をふやしてほしい、小さい迷路やアスレチックも作ってほしい」
 - 「子供も大人も一緒に遊べる遊具や広い場所が欲しい」
- 遊園地や大規模施設の提案
 - 「遊園地を作ってほしい」
 - 「いろんな遊具があって子供や大人が楽しめる遊園地が欲しい」
 - 「旭川市には遊べる場所が少ないから遊園地や水族館を作ってほしい」
- 屋内施設や体験型施設の充実
 - 「小さい子供たちだけでなく、子供も大人も楽しめる屋内の遊べる施設を作ってほしい」
 - 「体を動かしたりコミュニケーションをとったり、元気になれる施設がほしい」
 - 「プログラミングやAIを使った施設を作るのがいいと思う」
- 若者向けの遊び場の充実
 - 「高校生や20代の人を楽しめる施設を作ってほしい」
 - 「学生が遊べる場所を増やしてほしい」
 - 「高校生でも遊べる体験型のイベントや遊び場が欲しい」
- 交通アクセスや施設の立地
 - 「駅前周辺に遊べる場所を作ってほしい」
 - 「遊ぶ場所を増やすとともに、バスや電車などの交通手段を増やしてほしい」
- お金をかけずに楽しめる場所の需要
 - 「お金をかけずに遊べる場所がほしい、特に冬はやることが少ない」
 - 「高い施設に行けないので、無料で遊べる場所を増やしてほしい」

【運動できる遊びの場】

- 屋内で運動できる施設の整備
 - 「雨や雪の日でも遊べる大きな屋内アスレチック施設がほしい」
 - 「室内で遊べる公園のような施設を増やしてほしい」
 - 「体育館のような施設をもっと増やしてほしい」
 - 「廃校を利用してトランポリン施設などの運動施設を作るのはどうか」
- 冬でも使えるスポーツ施設の拡充
 - 「冬でも練習できる野球場がほしい」
 - 「スケート場を増やしてほしい」

「ウィンタースポーツが体験できる場所や、スキー・スノーボードの競技練習場（スノーパーク）を作ってほしい」

「冬に思い切り体を動かせる広い体育館を作ってほしい」

●競技別の専用スポーツ施設の整備

「サッカー場を中心部に作ってほしい」

「野球やサッカーができる大きなグラウンドを作ってほしい」

「バスケットコートやバスケットができる施設を増やしてほしい」

「ブレイキンやトリッキングが練習できる専用施設や体験会を企画してほしい」

●既存の施設を開放・活用

「学校の体育館を放課後開放して、友達と遊べるようにしてほしい」

「公民館や住民センターを一般開放してほしい」

「公園でボール遊びができないので、誰でも安く使える体育館を作ってほしい」

●旭川の特性を活かした大型スポーツ施設の設立

「旭川には自然が多いので、子どもから中高生まで遊べる広々とした公園・施設を作るべき」

【公園】

●公園の新設・整備

「買物公園に公園を作ってほしい」

「大きな滑り台を設置してほしい」

「すべての公園の遊具を新しく安全なものにしてほしい」

「公園の遊具が古い・撤去されるのが悲しいので、新しくしてほしい」

「幼児向けの施設が少ないので、増やしてほしい」

「町内会や市が管理する公園の清掃・遊具の管理を頻繁にしてほしい」

●プールの設置・整備

「学校帰りに利用できるプールをもっと開放してほしい」

「流れるプールやウォータースライダー付きのプールがほしい」

「札幌にはあるのに旭川にはないような、ぐるぐる回るプールがほしい」

「市民プールを綺麗にしてほしい」

●スポーツができる公園の増設

「ボール遊びができる公園を作ってほしい」

「バスケットゴールのある公園を作ってほしい」

「サッカー専用の公園（ストリートサッカー場）を作ってほしい」

「サッカーゴールがある公園がほしい」

「公園でボール使用禁止なのが不満。ボール遊びできる場所を作ってほしい」

●屋内で遊べる公園や施設の充実

「冬でも遊べるような、屋内に大型遊具やブランコがある施設を作ってほしい」

「遊べる屋内プールがほしい（流れるプール・滑り台付き）」

●公園の維持管理と清掃

「公園の遊具を直してほしい」

「公園の清掃をもっとしっかりしてほしい」

●その他の公園機能の充実

「筋トレができる公園を作ってほしい（子どもから大人まで運動できるように）」

「公園にステージがほしい」

【体験機会の充実について】

●職業体験の場の充実

「キッザニアのような仕事体験施設を作ってほしい」（多数）

「職業体験の機会を増やすことで、将来の夢を考えるきっかけを作ってほしい」

「キッズタウン旭川のようなイベントをもっと増やしてほしい」

●ものづくり・科学体験の充実

「自由に工作ができる施設を作ってほしい」（抽選制ではなく自由に利用できるもの）

「ロボット作りやプログラミングが学べる場がほしい」

「サイバルのように学びながら楽しめる施設がほしい」

「細胞や医学について学べる施設があれば、医療に興味を持つ人が増えると思う」

●農業・自然体験の場の拡充

「農業体験や動物の保護活動の体験ができるといい」

「旭川の自然を活かした体験を増やして、子どもの運動不足解消につなげてほしい」

「旭川のすべての小・中学校で農業体験を導入してほしい」

●国際交流・多文化体験

「外国の人と交流して、相手の国を知ったり、旭川のことを知ってもらう機会を作ってほしい」

「英語を学べる場を増やし、英語が話せない人でも楽しめる場所を作ってほしい」

「他文化との交流の機会を定期的に設けてほしい」

●IT・プログラミング体験の充実

「IT・プログラミングの体験を増やし、未来の職業や資格につながる機会を作ってほしい」

「プログラミングやゲーム作りを学べる施設がほしい」

「eスポーツの体験イベントや大会を開催してほしい」

●体験型イベント・交流の機会の創出

「子どもや若者が主体となって運営するお祭りやフェスティバルを開催してほしい」

「大人・子ども・高齢者など、異世代が交流できる場を作ってほしい」

「消極的な人でも楽しめる体験の場を増やし、コミュニケーション能力を育む環境を作りたい」

4 障がい児支援・医療的ケア児等への支援

「特別支援学校卒業後の障害ある子の専門学校をつくって欲しい。札幌には近年できた。卒業後も勉強して就職に繋げたい。」

「養護学校が旭川市内に無くて不自由。特別支援学校も倍率高くて入れない。」

5 児童虐待防止対策と社会的養護の推進及びヤングケアラーへの支援

「いじめだけでなく、DV や虐待も同じように対策を取って欲しい」

6 こども・若者の自殺対策，犯罪などからこども・若者を守る取組

●自殺対策

「自殺者が減らない現状があるから、自殺対策として、すごいポジティブ思考の人と関わらせて現実逃避させ、悩みを忘れさせる。」

「子供や若者の自殺対策には、悩み相談教室の設置や、授業内で心理や心のケアを学ぶことが必要だと考えた。」

「親しい人が悩みを抱えていたため、家庭環境の調査や若者の自殺対策をもっと考えて欲しい。」

「自殺対策をするためにはいじめ対策を徹底したりなどの根本的な問題を解決する必要があると思う。」

●交通安全

「豊岡のお家の近くに通学路なのに横断歩道や信号機がなくて道路を渡るのが怖い。」

「公園の入口近くに手押し信号があれば、安全に渡れる。」

「自転車も車と同じように扱うなら、歩道を作ってほしい。自転車と車がぶつかりそうで危険。」

「旭川市では交通事故で亡くなる人が増えているので、交通安全のルールを増やしてほしい。」

「妊婦さんが過ごしやすいうように、交通面などを整えてほしい。」

●防犯

「旭川駅周辺で SNS 用の動画撮影が迷惑になっているので、場所選びを促してほしい。」

「街には人がいなかったり、危険な場所があると思う。」

「駅前イオンのフードコートの治安が悪化しているので、改善してほしい。」

「旭川駅裏やフードコートに溜まっている若者たちが喧嘩をしたり、迷惑行為をしているので何とかしてほしい。」

「治安が悪いので、改善してほしい。」

「住宅街の街灯が少なく、暗いため改善してほしい。」

「地域全体で子供を支える体制を作り、下校時間などに見守りを強化してほしい。」

(学童期・思春期)

2 居場所づくり

●児童館や室内で過ごせる場の充実

「小学校の近くに児童センターがほしい。」

「私の住んでいる近辺には児童館がありません。室内で体を動かしたり、勉強したりできるスペースが欲しい。」

「天気が悪い日は公園に行けないので、児童センターのような室内で遊べる施設が学校近くに欲しい。」

「小学生が遊べる場所や勉強できる場所が少ない。小学生が安心して遊べる施設がほしい。」

「放課後に子どもだけで行ける施設があれば良い。」

「公共施設を多くする。例えば公園や図書館。」

「公園や児童館が少なく、子どもたちが安心して集まる場所がない。」

●学習環境

「フィールの自習室は混んでいて席がなく、不良にお菓子を取られるなどの問題がある。」

「自習スペースを増やして欲しい。」

「テスト期間などに、無料で入れる勉強できる空間を旭川駅近くに作ってほしい。」

「無料で利用できる学習スペースをもっと増やして欲しい。」

「自習ができるフードコート施設を作り、勉強と飲食ができる空間を提供してほしい。」

「空き家を勉強できる場所に改装し、町活性化にも繋がる。」

「小学生が遊べる場所や勉強できる場所が少なく、活動範囲が狭くなっている。安心して勉強できる施設がほしい。」

「勉強のできる施設が増えてほしい。」

4 成年年齢を迎える前に必要となる知識に関する情報提供や教育

「将来役に立たない学習はやらないで、税金、選挙、就職、子育てなどの実用性のある学習をする」

5 いじめ防止

●相談環境の整備

「スクールカウンセラーの来校日を増やした方が良い。」

「学校にカウンセラーが常にいる状態にする。」

「相談しやすい環境を作る。」

「いじめる側の意見といじめられる側の意見を聞く環境があればいい。」

「いじめの予防として定期的な面談を設ける。」

●防止対策

「いじめに関するポスターを掲示し、いじめが良くないことを認識してもらう。」

「複数の教師でクラスを見てほしい。1人では大人数でいじめも防げない。」

- 「いじめ防止の授業や実体験を交えた学習を増やす。」
- 「加害者側を環境から離し、心のケアをする方法を取り入れる。」
- 「いじめをした加害者には一定の処罰を課すべきだ。」
- 「いじめ防止を掲げているだけでなく、教育委員会がしっかりと動き、実際に問題があれば隠さずに話す。」
- 「SNS での不適切な言葉を書いた人を注意したりパトロールを強化する。」
- 「いじめがあった場合、証拠がなく動けないことがあるので監視カメラの設置を考える。」
- 「いじめを発見した後にすぐに解決できる体制を整え、加害者に対する法的措置を強化する。」
- 「いじめを防ぐために、地域全体で意識を高める必要がある。」

(青年期)

1 高等教育等の修学支援，高等教育環境等の充実支援

●進学の支援

「奨学金の無償化や就職サポートなどを増やして、もっと未来に光ある生活をして行きたい」

「大学とかのパンフレットをネットで配信する」

「進学がしやすくなるようにしてほしい」

●学費免除など経済的な支援

「大学までの学費を免除してほしい」

「進学資金を無償化してほしい」

「進学資金を学力や成績に左右されずに平等に支援したらいいと思う」

「全員が支援される状態にしたら良いと思う」

「奨学金制度の改善をしてほしい」

「進学しようとしている人に給付金を配るべき」

「お金が理由で大学を諦める人が多いからお金の支援がほしい」

「進学資金を半分くらい負担して欲しい」

「教科書の無償化」

「学習教材の無料配布」

「志望する学校に行きたいのに金銭面で諦める人を支援したい」

2 就労支援，雇用と経済的基盤の安定のための取組

●就職活動支援の強化

「就職活動の支援をもっとしてほしい」

「就職活動への支援としてもっと就職を境遇関係なく、活動しやすくするために企業の紹介などをして欲しい」

「進路に悩んでいる学生にアンケートを使って自分に合った職業をピックアップするアプリのようなものを取り入れるとよりいいと思いました」

「資格習得の場や機会を設けて欲しい。将来どんなことが起きても対応できるような資格が欲しい」

「公民館などで職場説明会などの話し合いの場を作ると思います」

4 悩みや不安を抱える若者やその家族に対する相談体制の充実

●相談支援の充実

「些細なことでも、大人子ども関係なく、相談しやすい環境が重要」

「相談しやすい環境は、たくさんの人の命や生活を守ると思います」

「教師に定期的に問題解決の方法を教える講習会を実施して、教師が生徒の問題にしっかり対応できるようにしてほしい」

「ほとんどの学校に悩みを相談できる先生を入れた方がいいと思います」

「いじめを防止し、自殺を防ぐために誰でも相談できるすぐに対処できる場所を作る」

「悩みを抱える人同士話し合いして共感できるところを作る」

「高校生はSNSトラブルなども多いのでそのような悩みを共有できるようなサイトを作って欲しいです」

「電話型だけでなく、チャット型の方が話しやすい人もいると思うので、チャット型の窓口も増えて欲しい」

「SNSを利用する方が多いので、YouTubeのように広告で相談サイトのリンクを出すなど、相談の機会を増やすべき」

■ 基本施策3

子育て当事者の視点を大切に、安心して子育てを行えるよう支える

1 子育てや教育に関する経済的負担の軽減

●子育てや教育に関すること

「子育てをするのに、たくさんのお金がかかるから、子育てをしている家庭にお金を支給したら良いと思う」

「少子化が進む要因の一つに、お金がなく産むのも育てるのも難しいという意見があるので、出産や育児にかかる費用の一部軽減」

「高校生が学校に通いやすいよう学校に行くための交通費を安くしてほしい」

「高校の学費や小中学校の給食費の援助があったら生活が少しでも楽になると思う」

●ひとり親家庭や多子家庭への支援

「ひとり親家庭は特に支援が必要だと思います。例えば、月に何万円かお金が貰える、兄弟が3人以上いる家庭はお金を配布するなど支援をして欲しいです」

「いろいろな事情でひとり家庭になってしまった家族への支援があったらいいと思う」

「シングルを敵にする訳では無いけど、世帯の収入やらによっては普及額を考えて欲しい」

●支援の方法に関する提案

「子育てや教育にかかるお金の支援に子供がいる人はその教育にかかるお金の10年間サポートみたいなカードを作ればいいと思いました」

「子ども1人出産につき、給付金の提供」

「子育て支援金給付求む」

「子育て世代の給付額を子供1人あたりに対して増やしてほしい」

「税金の使い道を見直し、子育て支援にもっとお金を回すべき」

2 地域子育て支援、家庭教育支援

●子供の安全・安心な育成環境の確保

「ママが仕事で遅くなるときにさびしくなっちゃうからお留守番のお助けがいたらいいなあ。」

「子供たちを安心安全に育てられるような事業を計画男女どちらも産めるようにする。」

「親が共働きや、親が子供を安全に育てられないことが増えているので、子供たちを安心して育てられるような事業を計画するべき。」

「働いている間に安心して子供を預けられる施設を増やす。」

「保育士の負担が大きいから、給料を上げて保育士を増やし、子供たちに十分な教育を受けさせるべき。」

「保育園や幼稚園とは別で児童館のように子供を預かってくれる施設が増えれば、働きながら子育てする親たちが支援される。」

「子育てしている人の視点を大切に、安心して子育てできるようにするため、悩みを相談できるアプリを導入することを提案。」

●子育て支援に関する意識の向上

「子育て支援をしている人の視点を大切にすることが、少子化防止に繋がる。」

「子育て支援や片親家庭への支援を充実させることで、子供たちが健やかに育つ環境が整う。」

「子育てしやすい環境を作ることで、親が安心して働けるようになり、社会全体が発展する。」

3 共働き・共育での推進，男性の家事・子育てへの主体的な参画促進・拡大

●男性の育児参加と育休取得の促進

「産休育休を男女共に取りやすいような地域づくりをしてほしい。」

「男性が育児に参加するために、育休を平等に取れるようにするべき。」

「男性も積極的に育児に参加することが女性を助ける。男性向けの子育て講座を開くべき。」

「男性同士のコミュニティを開き、アドバイスや質問を通じて育児の知識を深める機会を作るべき。」

「育休が男女ともに取りやすくなるような会社や街の取り組みを作るべき。」

「子育て支援を手厚くし、男性の育休取得を促進することが重要。」

●共働き家庭への支援

「共働き、共育での家庭でも生活が困らないように、保育園を大きくしたり、保育士を増やしたり、選択肢を増やすべき。」

「保育施設の利用時間を延長することで、共働き家庭が安心して子育てと仕事を両立できるようにする。」

「親世代を対象にした取り組みも重要。例えば、共働きや一人親家庭のために親の職場理解を進めるべき。」

●育児の知識の普及

「男性が子育てをするには知識が足りないため、講習会を開くことで知識を深めさせるべき。」

「高校生を対象にした子育て講習会を開くことで、将来役立つ知識を得られる。」

4 ひとり親家庭への支援

「ひとり親家庭への支援をもっと広める必要がある。SNSやアプリを使って支援情報を発信することが大切。」

「ひとり親家庭への給料に応じた支援金をもっと多くして欲しい。支援金がどのように使われているのかもしっかり把握してほしい。」

「私の周りにもひとり親家庭が多く、みんながバイトで苦労している。もっと支援を充実させてほしい。」

「母子家庭で親が帰るのが遅く、家で一緒にご飯を食べる機会が少ない。給料を少し多くしたり、早く帰らせる配慮が欲しい。」

■ 基本施策4

こどもや若者の成長を地域全体で支える体制の充実を図る

1 社会全体でのこども・子育て支援の取組の推進

「地域の人と関われるようなイベントを増やすことで、地域のつながりが深まると思います。」

「挨拶を返してもらえると心があたたまると感じるのありがたい。」

「子ども食堂と協力することで、より良い支援ができるのではないかと考えました。」

「雪かきの負担を減らすために、他県で行っていた雪かき運動（※）を実施してみてもどうか。※空き時間に少しでも協力して雪かきをするという活動」

「バスの優先席を子ども連れにも譲るという意識をもっと発信する必要がある。」